

前後半15分の2ピリオドの8人制。1チームは16人以上の編成とし、第1ピリオドと第2ピリオドは選手を総入れ替えする。3チームのリーグ戦を行い、①勝ち点(勝ち=3、分け=1、負け=0)②得失点差③総得点④直接対決の結果⑤抽選により決勝トーナメント出場チームを決める。

Aリーグ
①FCキントパリ
オ(葛飾)1勝1分②江東フレン
ドリースC(江東)2分③トラス
トユナチップFC(文京)1分
1敗④Bリーグ
①FCオーパ
スワン(足立)2勝2白百合
ス(王子)1勝1敗③ドラゴンガ
ルズUnited(練馬・板
橋)2敗④Cリーグ
①Ref
年蹴球団(杉並)1分1敗③桜町
スポーツクラブ・サッカーチーム
田谷1分1敗④Dリーグ
①世

PELADA FC(練馬)2
敗③三菱電機SC調布Jr.(調布)
1分1敗④Eリーグ
西砂青少年SC(立川)1分1敗
①FCトリニア
①城北ボレアスF
C(北)2勝2トッカーノ
川九小SC(立川)10-0と完勝した立
川九小SC(立川)。この試合
は初戦と違い、1点を争う緊迫
した好ゲームに。前半はともに
譲らず、0-0のまま後半へ。
先制点をたき出したのは、1
30秒に満たないスピードスタ
ー、中山晴翔。ゴール前に忍者
のように躍り出て、滑り込むよ
うにシュートを決めた。「ゴー
ル前でロングボールが来て、10
番(岡本翔太郎)がヘディング
でボールを後ろにそらすのが察
知できたので。誰よりも早く動
いた。読み通りに来ただ!」と
思つてシュートしました。ギー
ヤリ。さらに、中山は「ゴール前
でまたしても岡本の右からのバ
スに右でドンピシャで合わせ
て、2点目。
「これまで、ここでゴール

J A東京カップ第33回東京都5年生サッカー大会

都サッカー協会、都少年サッカー連盟、東京新聞・東京中日スポーツ主催



Hリーグ

Hリーグは、昨年の全国覇者・トリアネーロ町田(町田)が、爆勝&激勝で決勝トーナメントに駒を進めた。

まずは、初戦のMIRAI O FC(中野)戦。前後半の30分

常に相手陣地でボールを支配し

て、10-0の完封勝ち。前半に4

得点の高田裕月は「4得点につ

いて、特に感想はありません。

初戦のMIRAI O戦で4得点のトリアネーロ(左から2人目)高田(右)

それより、いつも通りのプレーができなかつたのが悔しい」と
ちょっとびり浮かぬ顔。2戦目は
後半から出場し、無得点に終わ
ったことが納得いかない様子。
2戦目の相手は同じくMIRAI Oに10-0と完勝した立
川九小SC(立川)。この試合
は初戦と違い、1点を争う緊迫
した好ゲームに。前半はともに
譲らず、0-0のまま後半へ。
先制点をたき出したのは、1
30秒に満たないスピードスター
ー、中山晴翔。ゴール前に忍者
のように躍り出て、滑り込むよ
うにシュートを決めた。「ゴー
ル前でロングボールが来て、10
番(岡本翔太郎)がヘディング
でボールを後ろにそらすのが察
知できたので。誰よりも早く動
いた。読み通りに来ただ!」と
思つてシュートしました。ギー
ヤリ。さらに、中山は「ゴール前
でまたしても岡本の右からのバ
スに右でドンピシャで合わせ
て、2点目。
「これまで、ここでゴール

トリアネーロ町田 力出し切り2戦激勝



2戦目の立川九小SC戦で2得点のトリアネーロ町田・中山(白)

昨日は、全国制覇も、昨年秋
の大会は、全国出場を決める決
勝大会でまさかの1回戦負け。
先輩たちの悔し涙も肥やしにな
っている。「いかにプレッシャー
の中で力を発揮するか。緊張
感の中で勝ちきることが大事」
と吉田武史監督。トリアネーロ
町田の底力がみられるのは、む
ろこれからだ。



Eリーグ

城北ボレアスFC
強豪破り決勝Tへ

Eリーグは、第6ブロック

(板橋・北・豊島)予選3位で
都大会出場を決めた城北ボレア
スFC(北)が2勝を挙げ、決
勝トーナメント進出を決めた。

初戦で強豪、FCトッカーノ
(世田谷)を2-1で下し、青
梅新町FC(青梅)との第2戦

勝ち点で4-0とするなど、後半
は青梅新町に3点を許しながら
も、ギリギリ守り切って勝利。

「よく最後まで集中して、戦い
切ってくれた」と後藤コーチ。

小山は「決勝トーナメントで
も、こんな戦いで勝ちたいで
す」と振り返り、矢内は「決勝
トーナメントは、全力で戦つ
て、とにかく1回勝つて次へ、
つて進んでいきたい」と元気よ
く話した。

みんなの スポーツ

公式HP



紙面に掲載された写真を有料でお分けしています

ト進出を決めた城北ボレアスFC
ト進出を決めた城北ボレアスFC

「みんなのスポーツ」は火
曜・水曜・木曜・金曜(東京中
日スポーツ)と土曜(週刊)にも
掲載。本紙の地方版でも随
時、記事を掲載しています。

小学5年生以下のチームで編成されたチームで東京ナンバーワンを競う大会は6日、東京都清瀬市の清瀬内山運動公園サッカー場で開幕した。都内16のブロック代表3チーム、計48チームが参加。初日は3チームずつに分かれたA~Pのリーグ戦で戦い、2月6日に多摩市の南豊ヶ丘フィールドで行われる決勝トーナメント(決勝T)に出場する16チームが決定した。

(竹下陽二、鈴木秀樹)

みんなの スポーツ

©吉田戦車/小学館

2戦ともに好セーブを見せた東
京ヴェルディJr.・小野(青)=
いずれも東京都清瀬市の清瀬内
山運動公園サッカー場で

リーグ



東京ヴェルディJr. 激戦リーグ勝ち抜く



■東京ヴェルディJr.(緑)×JACPA東京FC(白)戦は接戦の末1-1のドローに

FCトリプレッタ渋谷Jr.戦で、相手GKをドリブルで抜き去る東京ヴェルディJr.・大井(右)



予選リーグ 48チームが躍動

Jリーグ

Una Primavera
京都U11女子選抜戦

Jリーグは東京都U11女子選抜が、初戦のFC85オールスターズ(江戸川)に2-0と快勝。0-0のまま前半戦は終了。後半に入り、高橋柚乃が先制ゴール。続いて鈴木瑠菜が右からの鮮やかなミドルシュートを決めた。ディフェンス陣の奮闘も光った。

Mリーグ

初戦で決勝点となるゴールを
決めるDUR O調布・高村(右)



2020年の活動開始から3年目で、初の都大会に挑んだMリーグのDUR O調布SC(調布)。大嶋康二監督は「といつても、コロナ禍でしたから、活動も思うようにできず…。そんな中で、頑張ってくれた子供たちですから、本当にうれしいですね」と、選手らをねぎらった。

ヴァロールSCイースト(江戸川)との初戦では、後半に「ずっと緊張しちゃなしだけど、思い切り蹴れた」と、高村岳が右足を振り抜いて、都大会初得点となるゴールを決め、都大会初勝利。続く府中新町FC(府中)戦では前半に林佳祐がゴールを決めながら1-2で涙をのんだが、大嶋監督は「すべてがチーム初体験。1勝できて、いい経験になりました」と、収穫の多かった2試合を振り返っていた。

DUR O調布SC 都大会初勝利

出でて2点目のゴール。前半終

了間際には、スピードに乗った

ドリブルで相手DFを置き去り

にすると、最後はGKも抜き去

り、上田颯真が「低く、強くど

うのベンチの声に応えるよ

う」のベンチの声に応えるよ

う」